

2023年日本臨床腎移植学会「臨床研究奨励制度」募集要項

日本臨床腎移植学会「臨床研究奨励制度」は、今年度も以下の要綱で募集致します。是非、奮ってご応募下さい。

【設立の目的】

腎移植に関する、臨床研究を奨励し、臨床腎移植の発展・普及に寄与することを目的とし、公募選考の上、研究奨励金を与えることにいたします。多施設協同研究の他に、単施設研究、個人研究も認めます。

【対象とする研究】

臨床腎移植に関するもの：

1. 多施設協同複数年研究：例えば、抗体陽性例の腎移植プロトコール、CMV感染と治療法プロトコール、NODAT治療プロトコール、全国での献腎移植の適応基準に関するスタディなどがこれに当たります。
2. 単施設単年研究：例えば、自施設でのABO不適合腎移植に関する抗体関連拒絶反応の発症の因子の解析、プロトコール移植腎生検のまとめ、献腎移植の予後を規定する因子の解析などがあります。また、興味ある症例の背景となった因子の調査などがこれに相当します。

【応募資格】

筆頭研究者は、日本臨床腎移植学認定医であること、今までに本賞を受賞したことがなく、所属長または指導教授の推薦を受けた者で、実際に研究を行う人が望ましい。1施設から1名の応募とし、公募したテーマの採択は選考委員会で決定します。多施設共同研究の場合、予め共同研究者を独自に集めていただくことが望ましいですが、選考委員会と協議して共同研究者を募ることも可能です。

【奨励金額および研究期間】

1. 多施設協同複数年研究：単年最大100万円、原則2年ですが、3年までの延長を認めます（選考委員会および理事会の承認を必要とします。必ずしも研究の追加支給を意味するものではありません）。
2. 単施設単年研究：最大50万円を支給します。単年の研究となります。

【応募方法と期間】

応募用紙（日本臨床腎移植学会ホームページよりダウンロード）に、研究目

的、方法、要求予算などをわかりやすく書き、必要に応じて図表、参考文献などの資料を添付してください。応募書類は事務局宛に「書留」でお送りいただくか、電子メールにWORDやPDFファイル形式で添付し、電子データとして送付下さい。2023年6月より募集開始、同年7月31日を締め切り（必着）とします。

【選考方法と研究奨励金交付時期ならびに研究期間の目安】

2023年8月中に選考委員会の議を経て選考し、理事会承認後に筆頭研究者に通知します。

研究奨励金交付時期は2024年1月頃とします。なお、多施設協同研究助成対象に決定した場合には、これに先立ち研究参加施設を募ることは問題ありません。

研究期間の目安は、

1. 多施設協同複数年研究：2024年1月から2025年12月の2年間です。研究奨励金は毎年1回ずつ支給されます。希望により1年の延長を認めます（この際は、委員会への申し立てが必要です）。
2. 単施設単年研究：2024年1月から2024年12月の1年間です。

【研究成果の報告】

多施設協同複数年研究の場合には2025年の年次総会での中間報告と、2026年の年次総会で最終報告をしていただくことを原則といたします。単施設単年研究は2025年の年次総会で最終報告をしていただきます。また、研究の最終結果は臨床腎移植学会雑誌へ投稿していただくことを義務としています。